科目名	8．文化とマナー				
履修年次	1年次	科目区分	基礎分野	単位数 (時間)	1単位 （15時間）
ディプロマポリシー(DP)	☑ 人を大切にするこころ □ 現象を適切に把握し地域で生活する人を支える看護実践力 □ チームの中で連携・協働するための力 □ 専門職業人として自己研鑽する力				
科目目標	それぞれの文化に応じたマナーについて理解することができる				
到達目標	社会人になることを自覚し、その状況にふさわしい行動をとるために文化に応じたマナーを説明することができる				
評価方法	筆記試験（50点）、学習到達度基準を用いたレポート評価（50点）による総合評価を行う				
使用 テキスト					
参考文献	系統看護学講座　基礎分野　文化人類学　医学書院				
教育方法と学生への期待 (求めること)	一般的なマナーを身につけることを目的とします。それぞれの文化によってマナーは変化することを理解して欲しい。看護を実践する者にとって、その対象者の抱える多種多様な文化的背景を理解することは必要不可欠です。文化とはなにかを学び、日本での地域・文化の違い、諸外国の文化に違いを理解していきましょう。演習では、各地域の歴史と文化を調べ、様々な文化とマナーについての考えを深めていきましょう。				

回	学習項目	学習内容	授業方法
1	文化とはなにか	文化の概念 人間と文化	講義
2	日本独自の文化	日本の歴史と文化 地域・文化で異なる「当たり前」 習慣の違い	講義
3	文化に触れる①	人々が生活する各地域の歴史と文化	演習
4	文化に触れる②	人々が生活する各地域の歴史と文化	演習
5	諸外国の文化	諸外国の歴史と文化 文化、民族によって異なる生活様式	講義
6	マナーと接遇	マナーと接遇	講義

7	マナーとルール	社会人マナー	演習
7.5	文化とマナー	様々な文化とマナー	演習